

## とっとり次世代エネルギーパーク計画（案）

### 1 目的

鳥取県は、豊かな自然や変化に富む地形を活かした、太陽光、風力、水力、バイオマス、雪氷熱利用といった多種多様な再生可能エネルギー施設が民間と行政機関によって数多く導入され、エネルギーの宝庫となっています。

中核施設として設定する「とっとり自然環境館」を中心に、既存及び整備が計画されている再生可能エネルギー施設及びその関連施設と連携し、県域全体を1つのエネルギーパークとして位置づけることで、県内外の来訪者が見て触れることにより環境学習の推進や再生可能エネルギーの普及啓発を進めます。

また、次世代エネルギーパークの活用によって、エネルギーを通じた自然豊かな鳥取の魅力を県内外に発信し、環境意識の醸成や環境活動の推進、観光関連産業の振興による地域の活性化を図ります。

### 2 計画のコンセプト

#### 『豊かな自然の恵みがもたらす エネルギーの宝庫とっとり』

鳥取県最大の資源である豊かな自然が生み出す多種多様な再生可能エネルギーの恩恵を県民自ら認識するとともに、これらを活かして地域の活性化を図ります。

#### (1) 再生可能エネルギーの導入推進

全国最大規模の太陽光発電所から小水力発電まで大小様々な再生可能エネルギー施設をネットワーク化し、当県が再生可能エネルギーの導入先進県であることをアピールすることにより、再生可能エネルギーの導入を推進し、二酸化炭素排出量削減による地球温暖化対策及び安全・安心な地域の創造につながるエネルギーの地産地消を進めます。

また、再生可能エネルギーを利活用する設備の導入、開発、実用化などによる産業波及効果を期待します。

#### (2) 地域との協働による環境教育と環境配慮活動の推進

地域での再生可能エネルギーの活用や地球環境保全への取組を紹介し、これらの取組の重要性、効果等の周知を図ることで、環境問題解決に向けて自ら考え行動する人を育て、県民運動として環境配慮活動を推進します。

#### (3) 再生可能エネルギー施設と観光資源の連携による地域の活性化

再生可能エネルギーと鳥取県の豊かな自然や観光資源などの地域特性とを連携させ、県内外からの修学旅行や環境学習ツアーの誘致に繋がる観光事業としての展開を目指します。

### 3 次世代エネルギーパークの構成

#### (1) 中核施設

次世代エネルギーパークの中核をなすもので、再生可能エネルギーや環境保全活動に関する情報の発信、次世代エネルギーパークを構成する施設の紹介や案内等の機能を有します。

名称	とっとり自然環境館	所在地	米子市大崎3421番9
設置者	鳥取米子ソーラーパーク（株）	設置時期	平成25年10月20日（予定）

## (2) 先導的なエネルギー分野

日本最大級の太陽光発電や夜間電力を活用する揚水発電、冬季の降雪を貯留して夏場の空調などに活用する雪室システムなど、次世代に向けた先導的な再生可能エネルギー施設及びその関連施設の各種システム概要やその効果などを学習し、見て触れることによって効果的に再生可能エネルギーの普及啓発を進めます。

## (3) その他のエネルギー分野

従来から導入されている水力発電の他、チップやペレットのボイラーなど地産地消のエネルギーの活用方法等を紹介し、地球環境問題などについても学習して、ライフスタイルの転換などの普及啓発を行います。

※エネルギー施設は、整備が計画されているものを含みます。

※小水力発電や温泉熱利用など新たな分野のエネルギー施設を含め、今後設置される施設及び既存の施設で見学受入体制が整備された施設等はエネルギーパークの施設として随時追加します。

## 4 平成25年度事業内容

### (1) エコツアーの体制整備

とっとり自然環境館を中心に周辺のエネルギー関連施設や周辺の大自然などを巡るエコツアーのモデルルートを設定し、ツアープログラムを作成するとともに、エコツアーをコーディネートする人材や、ガイドとして地域の環境学習を支援する人材を育成し、エネルギーパークの各施設が一体的に見学できる体制を整備する。

### (2) 環境情報の発信

再生可能エネルギーと鳥取県の豊かな自然や観光資源などの地域特性とを連携させ、とっとり自然環境館を総合的な情報の発信拠点として、映像コンテンツ、紹介パネルやパンフレット等の啓発資材を設置し、広く情報を提供するとともに、ホームページで各エネルギーパーク関連施設を紹介する。

### (3) モニターツアーの実施

当県が再生可能エネルギーの導入先進地であることを県内外にアピールするとともに、当県の緑豊かな自然をPRし、とっとりグリーンウェイブ推進の機運を高めるため、県内外の子ども達や環境事業関係者を対象としたモニターツアーを実施する。

## ＜参考＞ 策定の背景

### (1) 次世代エネルギーパーク構想に関する国の方針

経済産業省は、平成18年に公表した「新・国家エネルギー戦略」の中で、「次世代エネルギーパークの整備」として『国民が新エネルギーや省エネルギーなど新たなエネルギーの生産・利用に目で見えて触れて理解できるよう、次世代エネルギーパークという形でエネルギーの地域拠点を整備する。』としています。

### (2) 次世代エネルギーパークの考え方

経済産業省は、次世代エネルギーパークを、小学生から高齢者まで国民各層が再生可能エネルギーを中心に我が国のエネルギー問題への理解の増進を深めることを通じて、エネルギー政策の推進に寄与することを期待するものとし、地方自治体等を対象とした「次世代エネルギーパーク計画」の公募、認定を実施し、公表すること等により、その整備の更なる推進を図ります。

なお、次世代エネルギーパークの計画として以下の項目を満たすことを条件としています。

- ① 実施運営主体が、確定していること。実施運営主体は地方自治体又は第3セクター等であり、自治体が主体的に取り組んでいると判断されること（資金面については、運営主体以外の支援が過半を占めていてもよい）。また、必要に応じ、地元の再生可能エネルギー設備を有する民間企業等が実施運営に参加する場合は、その者が決定されていること。
- ② 実施運営主体において、建設費、維持費、来場者予測等を考慮した現実的な収支計画が立てられていること。また、収支計画の中で、費用負担を行う者が決定されていること。
- ③ 地域特色を明確にしたコンセプトが存在するなど、地域の特色を生かした創意工夫がみられること。
- ④ 再生可能エネルギー設備で発生した電気・熱が、パーク内や周辺地区で使用され、もしくは系統に連系される計画であり、利用する発電量・熱量規模及び利用先が明示されていること。
- ⑤ 原則として複数の種類の再生可能エネルギー設備が含まれていること。また複数の地域にまたがる場合には、全体像がわかるような中心的な施設が存在するとともに、一体的に見学できるような工夫がなされ、また、個々の施設において、見学者に対し安全を確保しつつ必要な情報が提供できる体制がなされていること。
- ⑥ 近隣に再生可能エネルギー設備や関連施設がある場合には、可能な範囲で、当該パークに関連する施設として位置づけられていること。

## とっとり次世代エネルギーパーク施設一覧

### 【東部】

分野	所在地	名称	設置者	規模(kW)	先導的施設
大規模太陽光	鳥取市	企業局東部事務所太陽光発電所	県企業局	120	
風力	鳥取市	鳥取放牧場風力発電所	県企業局	1,000kW×3基	○
水力	鳥取市	袋川発電所	県企業局	1,100	
	鳥取市	東部事務所監視室	県企業局	-	
	若桜町	加地発電所	県企業局	1,100	
コージェネレーション等	鳥取市	サルーテ	鳥取ガス(株)		○

### 【中部】

分野	所在地	名称	設置者	規模(kW)	先導的施設
大規模太陽光	北栄町	北栄高千穂太陽光発電所	(株)エナテクスソーラー	750	○
風力	湯梨浜町	湯梨浜町風力発電所	湯梨浜町	600kW×1基	○
	北栄町	北条砂丘風力発電所	北栄町	1,500kW×9基	○
水力	倉吉市	南谷小水力発電所	天神野土地改良区	90	
	琴浦町	船上山ダム	県整備し琴浦町へ移管	110	
バイオマス	倉吉市	木質チップボイラー	鳥取県農業大学校	180	

### 【西部】

分野	所在地	名称	設置者	規模(kW)	先導的施設
大規模太陽光	米子市	ソフトバンク鳥取米子ソーラーパーク	鳥取米子ソーラーパーク(株)	42,900	○
	米子市	企業局西部事務所太陽光発電所	県企業局	200	
	日南町	石見東太陽光発電所	日南町	340	
風力	大山町	高田工業団地風力発電所	大山町	1,500kW×1基	○
水力	伯耆町	新幡郷発電所	県企業局	9,200	
	南部町	賀祥発電所	県企業局	260.0	
	江府町	俣野川発電所ご案内ホール	中国電力	1,200,000	○
	江府町	下蚊屋ダム	県が整備	199	
バイオマス	米子市	ペレットボイラー	鳥取県西部総合事務所	1,740	
	米子市	新エネルギーボイラー	王子製紙(株)	80,000	○
	米子市	一般廃棄物発電	米子市クリーンセンター	4,000	○
	境港市	木質ボイラー	(株)日新	12,500	
	境港市	木質バイオマス発電	(株)日新	5,000	○
	大山町	木質ペレット製造工場	(有)赤碕清掃		○
	大山町	木質ペレットボイラー	大山町(中山支所)	210	
	南部町	木質ペレットボイラー	南部町(法勝寺庁舎)	105kW×4基	
	南部町	木質ボイラー	協同組合レングス	500	
	日南町	木質バイオマス発電	(株)オロチ	160	○
雪氷熱	江府町	雪室システム	サントリープロダクツ(株)	250t	○

※先導的施設：施設の規模や性質から、次世代のエネルギー社会を想起させる先導的なエネルギー施設として位置づけたもの

※平成25年8月現在で、見学受入体制が整備され設置者から了解が得られた施設を掲載。  
今後新たに整備される施設や見学受入体制が整備された施設については随時追加し、更新します。